

レジメン名

SOX+Pembrolizumab

出典 KEYNOTE-659試験

実施部署区分

☒入院

☒外来

☐処置

対象疾患

胃癌

☒進行・再発 (HER2陰性)

☐補助療法 (術前・術後)

☐

1クール期間

21日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

投与減量の基準(L-OHP、TS-1)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	CLcr	60mL/min未満
その他	nadir時に上記基準を満たした時以下のように減量 L-OHP: 130mg/m ² →100mg/m ² →75mg/m ² TS-1: 80mg/m ² →1段階減量→2段階減量 nadir時のPLT 7.5万/mm ³ 未満のときL-OHPのみ1段階減量 投与日のPLT 10万/mm ³ 未満のときL-OHPのみ1段階減量		

投与中止の基準(L-OHP、TS-1)

ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
Cr	1.5mg/dL以上	CCr	30mL/min未満
AST、ALT	100IU/L以上※		
その他	※肝転移症例では200IU/L以上		

SOXの中止基準・減量基準は出典に記載なく、医師と協議の上、G-SOXレジメンを引用

投与減量の基準(Pembrolizumab)

infusion reaction	Grade2: 直ちに中止し、1時間以内に回復する場合には投与速度を50%に減速して再開
-------------------	--

投与中止の基準(Pembrolizumab)

AST	120IU/Lを超える	ALT	120IU/Lを超える
T-bil	1.8mg/dLを超える		
SCr	男性: 1.62mg/dLを超える、女性: 1.2mg/dLを超える		
その他	Grade2以上の肺炎・大腸炎・下痢・下垂体炎、Grade3以上の高血糖・甲状腺機能障害・心筋炎・脳炎・ギラン・バレー症候群、症候性の内分泌障害(甲状腺機能低下症を除く)、1型糖尿病、Grade3以上または再発性のGrade2のinfusion reaction Grade4または再発性のGrade3の副作用、副作用の処置として副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合、12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ペムブロリズマブ(キイトルーダ)	200mg/body	輸液100mL	30分	d1
オキサリプラチン(エルプラット)	130mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	d1
ティーエスワン	80mg/m ² ※	朝、夕食後		d1タ-15朝
	※体表面積ごとに初回基準量を決める 1.25m ² 未満: 40mg/回 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満: 50mg/回 1.5m ² 以上: 60mg/回			

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②キイトルーダ200mg+輸液100mL(30分) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) ④アロキシ0.75mgバッグ+デキサート6.6mg(15分) ⑤エルプラット130mg/m ² +5%糖液500mL(2時間) ⑥生食50mL(フラッシュ用) day1タ-15朝 TS-1 80mg/m ² 分2で服用